

看護教育調査

「高校衛看」の教員が勤めている学校は、国・公立と私立の割合が3：2であり、回答教員の60.2%が、専任教諭である。教員の平均年齢は40.3歳で、40～44歳の教員が21.4%と最も多い。55.3%の教員が高卒で、専門学歴としては3年課程卒が32.9%であり、看護婦（士）免許保持者が97.7%である。

「准看学校」の教員が勤めている学校は、68.9%が医師会立であり、回答教員の70.3%が専任教員である。教員の平均年齢は42.3歳で、40～44歳の教員が20.0%と最も多い。83.8%の教員が高卒で、専門学歴としては64.9%が3年課程卒であり、看護婦（士）免許保持者は99.4%である。

「進学コース」の教員が勤めている学校は、国・公立と医師会・医療法人立の割合がそれぞれ35.3%、33.3%とほぼ同じであり、回答教員の70.0%が専任教員である。教員の平均年齢は40.4歳で、40～44歳の教員が22.1%と最も多い。74.9%の教員が高卒で、専門学歴としては58.0%が3年課程卒であり、看護婦（士）免許保持者は99.3%である。

「3年課程」の教員が勤めている学校は、52.7%が国・公立であり、回答教員の78.3%が専任教員である。教員の平均年齢は38.5歳と各課程の中で一番若く、30～34歳の教員が25.5%と最も多い。79.7%の教員が高卒で、専門学歴としては69.7%が3年課程卒であり、看護婦（士）免許保持者はほぼ100%である。

「短大」の教員が勤めている学校は、60.7%が国・公立であり、回答教員の38.4%が助手や実習助手である。教員の平均年齢は41.5歳で、50歳台の教員が21.0%と最も多い。53.4%の教員が大学・大学院卒で、専門学歴としては39.1%が3年課程卒であり、看護婦（士）免許保持者はほぼ100%である。

「大学」の教員が勤めている学校は、国・公立と私立の比がほぼ1：1であり、回答教員の36.1%が助手や実習助手である。教員の平均年齢は43.1歳と各課程の中で一番高く、50歳台の教員が31.6%と最も多い。85.7%の教員が大学・大学院卒で、専門学歴としては40.6%が大学卒である。看護婦（士）免許保持者は96.2%と各課程の中で一番低く、保健婦免許保持者は60.9%と各課程の中で一番高い。

Ⅱ 教員になった動機と経験

1. 教員としての経験年数

(1) 教員としての経験年数

表11から、「高校衛看」では、『15～20年未満』の教員が22.0%と最も多く、それ以外の各課程では、経験年数『0～3年未満』の教員が19.5～33.5%おり、最も多かった。

教員としての経験年数の平均は、「3年課程」では7.4年、「准看学校」と「進学コース」では8.7年と8.4年、それ以外の各課程では10.2～12.7年であった。

表11 教員としての経験年数

	高校衛看	准看学校	進学コース	3年課程	短大	大学	複数課程	不明	全体
0～3年未満	48 (15.8)	261 (27.6)	337 (27.1)	619 (33.5)	126 (27.8)	26 (19.5)	47 (28.7)	11 (31.4)	1475 (28.8)
3～5年未満	17 (5.6)	105 (11.1)	160 (12.9)	238 (12.9)	55 (12.1)	20 (15.0)	19 (11.6)	2 (5.7)	616 (12.0)
5～10年未満	49 (16.1)	212 (22.5)	283 (22.8)	433 (23.4)	71 (15.7)	23 (17.3)	34 (20.7)	7 (20.0)	1112 (21.7)
10～15年未満	50 (16.4)	167 (17.7)	224 (18.0)	292 (15.8)	81 (17.9)	19 (14.3)	22 (13.4)	11 (31.4)	866 (16.9)
15～20年未満	67 (22.0)	101 (10.7)	138 (11.1)	163 (8.8)	49 (10.8)	13 (9.8)	18 (11.0)	3 (8.6)	552 (10.8)
20～25年未満	49 (16.1)	47 (5.0)	63 (5.1)	67 (3.6)	37 (8.2)	18 (13.5)	13 (7.9)	1 (2.9)	295 (5.8)
25～30年未満	12 (3.9)	20 (2.1)	12 (1.0)	20 (1.1)	17 (3.8)	10 (7.5)	5 (3.0)	0 (—)	96 (1.9)
30年以上	2 (0.7)	11 (1.2)	6 (0.5)	7 (0.4)	16 (3.5)	4 (3.0)	3 (1.8)	0 (—)	49 (1.0)
無回答	10 (3.3)	20 (2.1)	19 (1.5)	11 (0.6)	1 (0.2)	0 (—)	3 (1.8)	0 (—)	64 (1.2)
総人数	304 (100.0)	944 (100.0)	1242 (100.0)	1850 (100.0)	453 (100.0)	133 (100.0)	164 (100.0)	35 (100.0)	5125 (100.0)
平均経験年数	12.7	8.7	8.4	7.4	10.2	11.6	9.3	8.3	8.6

(2) 現在の学校での経験年数

表12から、各課程とも、経験年数『0～3年未満』の教員が21.7～43.1%おり、最も多かった。

現在の学校での経験年数の平均は、「3年課程」と「短大」では5.7年と5.9年、「進学コース」では6.5年、「准看学校」と「大学」では7.6年と7.4年、「高校衛看」では10.7年であった。

表12 現在勤務している学校での勤務年数

	高校衛看	准看学校	進学コース	3年課程	短大	大学	複数課程	不明	全体
0～3年未満	66 (21.7)	316 (33.5)	461 (37.1)	797 (43.1)	184 (40.6)	39 (29.3)	61 (37.2)	14 (40.0)	1938 (37.8)
3～5年未満	22 (7.2)	114 (12.1)	188 (15.1)	289 (15.6)	89 (19.6)	28 (21.1)	25 (15.2)	4 (11.4)	759 (14.8)
5～10年未満	57 (18.8)	213 (22.6)	267 (21.5)	408 (22.1)	83 (18.3)	24 (18.0)	29 (17.7)	4 (11.4)	1085 (21.2)
10～15年未満	55 (18.1)	149 (15.8)	180 (14.5)	210 (11.4)	61 (13.5)	22 (16.5)	27 (16.5)	12 (34.3)	716 (14.0)
15～20年未満	58 (19.1)	84 (8.9)	107 (8.6)	93 (5.0)	25 (5.5)	11 (8.3)	15 (9.1)	0 (—)	393 (7.7)
20～25年未満	33 (10.9)	37 (3.9)	28 (2.3)	36 (1.9)	6 (1.3)	7 (5.3)	6 (3.7)	1 (2.9)	154 (3.0)
25～30年未満	6 (2.0)	14 (1.5)	1 (0.1)	10 (0.5)	2 (0.4)	1 (0.8)	0 (—)	0 (—)	34 (0.7)
30年以上	0 (—)	8 (0.8)	1 (0.1)	1 (0.1)	2 (0.4)	0 (—)	0 (—)	0 (—)	12 (0.2)
無回答	7 (2.3)	9 (1.0)	9 (0.7)	6 (0.3)	1 (0.2)	1 (0.8)	1 (0.6)	0 (—)	34 (0.7)
総人数	304 (100.0)	944 (100.0)	1242 (100.0)	1850 (100.0)	453 (100.0)	133 (100.0)	164 (100.0)	35 (100.0)	5125 (100.0)
平均経験年数	10.7	7.6	6.5	5.7	5.9	7.4	6.8	6.8	6.6

2. 臨床看護の経験年数

表13から、「高校衛看」では、経験年数『0～3年未満』の教員が43.8%と最も多かった。「大学」では、経験年数が『3～5年未満』と『5～10年未満』の教員のどちらも29.3%と最も高い割合であった。それ以外の各課程では、経験年数『5～10年未満』の教員が38.0～49.6%で一番多かった。

臨床看護の経験年数の平均は、「高校衛看」では4.0年、「大学」では6.8年で、それ以外の各課程では8.5～8.6年であった。

表13 臨床看護の経験年数

	高校衛看	准看学校	進学コース	3年課程	短大	大学	複数課程	不明	全体
0～3年未満	133 (43.8)	27 (2.9)	48 (3.9)	26 (1.4)	43 (9.5)	22 (16.5)	16 (9.8)	1 (2.9)	316 (6.2)
3～5年未満	61 (20.1)	171 (18.1)	208 (16.7)	301 (16.3)	104 (23.0)	39 (29.3)	47 (28.7)	5 (14.3)	936 (18.3)
5～10年未満	80 (26.3)	446 (47.2)	562 (45.2)	917 (49.6)	172 (38.0)	39 (29.3)	64 (39.0)	15 (42.9)	2295 (44.8)
10～15年未満	15 (4.9)	182 (19.3)	266 (21.4)	403 (21.8)	67 (14.8)	17 (12.8)	24 (14.6)	8 (22.9)	982 (19.2)
15～20年未満	9 (3.0)	65 (6.9)	93 (7.5)	131 (7.1)	28 (6.2)	7 (5.3)	6 (3.7)	4 (11.4)	343 (6.7)
20～25年未満	1 (0.3)	22 (2.3)	39 (3.1)	49 (2.6)	18 (4.0)	5 (3.8)	6 (3.7)	1 (2.9)	141 (2.8)
25～30年未満	1 (0.3)	9 (1.0)	4 (0.3)	11 (0.6)	7 (1.5)	2 (1.5)	1 (0.6)	0 (—)	35 (0.7)
30年以上	0 (—)	13 (1.4)	9 (0.7)	6 (0.3)	9 (2.0)	0 (—)	0 (—)	0 (—)	37 (0.7)
無回答	4 (1.3)	9 (1.0)	13 (1.0)	6 (0.3)	5 (1.1)	2 (1.5)	0 (—)	1 (2.9)	40 (0.8)
総人数	304 (100.0)	944 (100.0)	1242 (100.0)	1850 (100.0)	453 (100.0)	133 (100.0)	164 (100.0)	35 (100.0)	5125 (100.0)
平均経験年数	4.0	8.6	8.6	8.6	8.5	6.8	7.2	8.9	8.2

3. 教員養成のための講習会への受講

(1) 種々の教員養成のための講習会の受講の有無と時期

表14から、教員養成のための講習会の受講の状況についてみてみよう。

1) 国立公衆衛生院の専攻課程看護コース

「准看学校」(0.8%)と「進学コース」(0.9%)では、この講習会を受けたことがある教員は、1%にも満たなかった。「高校衛看」(1.0%)と「3年課程」(1.5%)では、1%台の教員が受けていた。「短大」では7.1%、「大学」では4.5%の教員が受講していた。

受講の時期としては、各課程とも、『教員になる前、なってから1年未満』に受けている教員が、65.6～100.0%いた。

2) 厚生省看護研修研究センターの看護教員養成課程

「高校衛看」(3.6%)と「大学」(7.5%)では、この講習会を受けた教員は、1割に満たなかった。

表14 種々の教員養成のための講習会の受講の有無と時期

	高 校 衛 看	准 学 看 学 校	進 学 看 学 コース	3 年 課 程	短 大	大 学	複 数 教 程	不 明	全 体
〔国立公衆衛生院の専攻課程看護コース〕									
受けたことがない	255 (83.9)	868 (91.9)	1169 (94.1)	1778 (96.1)	392 (86.5)	109 (82.0)	148 (90.2)	30 (85.7)	4749 (92.7)
受けたことがある	3 (1.0)	8 (0.8)	11 (0.9)	27 (1.5)	32 (7.1)	6 (4.5)	6 (3.7)	0 (—)	93 (1.8)
時 期									
教員になる前, なつてから1年未満	3 <100.0>	7 <87.5>	8 <72.7>	19 <70.4>	21 <65.6>	4 <66.7>	4 <66.7>	0 <—>	66 <71.0>
教員になって1年以上たってから	0 <—>	1 <12.5>	2 <18.2>	6 <22.2>	11 <34.4>	2 <33.3>	2 <33.3>	0 <—>	24 <25.8>
不 明	0 <—>	0 <—>	1 <9.1>	2 <7.4>	0 <—>	0 <—>	0 <—>	0 <—>	3 <3.2>
〔厚生省看護研修センター看護教員養成課程〕									
受けたことがない	247 (81.3)	704 (74.6)	840 (67.6)	1220 (65.9)	378 (83.4)	105 (78.9)	127 (77.4)	24 (68.6)	3645 (71.1)
受けたことがある	11 (3.6)	172 (18.2)	340 (27.4)	585 (31.6)	46 (10.1)	10 (7.5)	27 (16.5)	6 (17.1)	1197 (23.4)
時 期									
教員になる前, なつてから1年未満	8 <72.7>	61 <35.5>	180 <52.9>	398 <68.0>	24 <52.2>	6 <60.0>	12 <44.4>	4 <66.7>	693 <57.9>
教員になって1年以上たってから	3 <27.3>	111 <64.5>	157 <46.2>	186 <31.8>	21 <45.7>	3 <30.0>	15 <55.6>	2 <33.3>	498 <41.6>
不 明	0 <—>	0 <—>	3 <0.9>	1 <0.2>	1 <2.2>	1 <10.0>	0 <—>	0 <—>	6 <0.5>
〔看護協会主催の看護教員コース〕									
受けたことがない	252 (82.9)	839 (88.9)	1110 (89.4)	1669 (90.2)	385 (85.0)	109 (82.0)	143 (87.2)	25 (71.4)	4532 (88.4)
受けたことがある	6 (2.0)	37 (3.9)	70 (5.6)	136 (7.4)	39 (8.6)	6 (4.5)	11 (6.7)	5 (14.3)	310 (6.0)
時 期									
教員になる前, なつてから1年未満	2 <33.3>	18 <48.6>	47 <67.1>	112 <82.4>	29 <74.4>	6 <100.0>	8 <72.7>	3 <60.0>	225 <72.6>
教員になって1年以上たってから	3 <50.0>	18 <48.6>	20 <28.6>	23 <16.9>	10 <25.6>	0 <—>	2 <18.2>	2 <40.0>	78 <25.2>
不 明	1 <16.7>	1 <2.7>	3 <4.3>	1 <0.7>	0 <—>	0 <—>	1 <9.1>	0 <—>	7 <2.3>
〔都道府県主催の看護教員コース〕									
受けたことがない	245 (80.6)	570 (60.4)	735 (59.2)	1230 (66.5)	373 (82.3)	109 (82.0)	125 (76.2)	18 (51.4)	3405 (66.4)
受けたことがある	13 (4.3)	306 (32.4)	445 (35.8)	575 (31.1)	51 (11.3)	6 (4.5)	29 (17.7)	12 (34.3)	1437 (28.0)
時 期									
教員になる前, なつてから1年未満	3 <23.1>	87 <28.4>	208 <46.7>	359 <62.4>	25 <49.0>	4 <66.7>	15 <51.7>	6 <50.0>	707 <49.2>
教員になって1年以上たってから	6 <69.2>	215 <70.3>	232 <52.1>	208 <36.2>	25 <49.0>	1 <16.7>	13 <44.8>	5 <41.7>	708 <49.3>
不 明	1 <7.7>	4 <1.3>	5 <1.1>	8 <1.4>	1 <2.0>	1 <16.7>	1 <3.4>	1 <8.3>	22 <1.5>
〔日赤幹部看護婦研修所コース〕									
受けたことがない	258 (84.9)	872 (92.4)	1163 (93.6)	1591 (86.0)	408 (90.1)	113 (85.0)	150 (91.5)	28 (80.0)	4583 (89.4)
受けたことがある	0 (—)	4 (0.4)	17 (1.4)	214 (11.6)	16 (3.5)	2 (1.5)	4 (2.4)	2 (5.7)	259 (5.1)
時 期									
教員になる前, なつてから1年未満	0 <—>	2 <50.0>	16 <94.1>	202 <94.4>	15 <93.8>	2 <100.0>	3 <75.0>	2 <100.0>	242 <93.4>
教員になって1年以上たってから	0 <—>	1 <25.0>	1 <5.9>	8 <3.7>	1 <6.3>	0 <—>	1 <25.0>	0 <—>	12 <4.6>
不 明	0 <—>	1 <25.0>	0 <—>	4 <1.9>	0 <—>	0 <—>	0 <—>	0 <—>	5 <1.9>
〔その他の教員養成のための講習会〕									
受けたことがない	211 (69.4)	801 (84.9)	1034 (83.3)	1630 (88.1)	323 (71.3)	108 (81.2)	137 (83.5)	27 (77.1)	4271 (83.3)
受けたことがある	58 (19.1)	82 (8.7)	156 (12.7)	190 (10.3)	119 (26.3)	8 (6.0)	19 (11.6)	4 (11.4)	636 (12.4)
時 期									
教員になる前, なつてから1年未満	6 <10.3>	28 <34.1>	78 <50.0>	110 <57.9>	70 <58.8>	4 <50.0>	6 <31.6>	1 <25.0>	303 <47.6>
教員になって1年以上たってから	36 <62.1>	34 <41.5>	67 <42.9>	66 <34.7>	41 <34.5>	2 <25.0>	13 <68.4>	3 <75.0>	262 <41.2>
不 明	16 <27.6>	20 <24.4>	11 <7.1>	14 <7.4>	8 <6.7>	2 <25.0>	0 <—>	0 <—>	71 <11.2>
無 回 答	46 (15.1)	68 (7.2)	62 (5.0)	45 (2.4)	29 (6.4)	18 (13.5)	10 (6.1)	5 (14.3)	283 (5.5)
総 人 数	304 (100.0)	944 (100.0)	1242 (100.0)	1850 (100.0)	453 (100.0)	133 (100.0)	164 (100.0)	35 (100.0)	5125 (100.0)

註) < > 内の数字は、『受けたことがある』教員の総数を母数とした%

看護教育調査

「准看学校」(18.2%)と「短大」(10.1%)では、受けた教員が1割台であった。「進学コース」では27.4%、「3年課程」では31.6%の教員が受けていた。

受講時期としては、「准看学校」では、『教員になって1年以上たってから』受けた教員が64.5%おり、それ以外の各課程では、『教員になる前、なってから1年未満』に受けた教員が、52.2~72.7%いた。

3) 看護協会主催の看護教員コース

この講習会を受けたことがある教員は、「高校衛看」で2.0%、「准看学校」で3.9%、「進学コース」で5.6%、「3年課程」で7.3%、「短大」で8.6%、「大学」で4.5%と、各課程とも1割もいなかった。

受講の時期としては、「高校衛看」では、『教員になって1年以上たってから』受けた教員が50.0%いた。「准看学校」では、『教員になる前、なってから1年未満』に受けた教員と『教員になって1年以上たってから』受けた教員が、48.6%と同じ割合であった。それ以外の各課程では、『教員になる前、なってから1年未満』に受けていた教員が、67.1~100.0%いた。

4) 都道府県主催の看護教員コース

「高校衛看」(4.3%)と「大学」(4.5%)では、4%台の教員がこの講習会を受けていた。「短大」では、11.3%の教員がこの講習会を受けていた。「准看学校」(32.4%)と「進学コース」(35.8%)や「3年課程」(31.1%)では、受けたことがある教員は、3割以上いた。

受講の時期としては、「短大」では、『教員になる前、なってから1年未満』に受けていた教員と『教員になって1年以上たってから』受けた教員が、49.0%と同じ割合であった。「3年課程」と「大学」では、『教員になる前、なってから1年未満』に受けていた教員がそれぞれ62.4%、66.7%いた。それ以外の各課程では、『教員になって1年以上たってから』受けた教員が52.1~70.3%いた。

5) 日赤幹部看護婦研修コース

「3年課程」では、この講習会を11.6%の教員が受けていた。「准看学校」で0.4%、「進学コース」で1.4%、「短大」で3.5%、「大学」で1.5%と、この講習会を受けたことがある教員は、4%にも満たなかった。「高校衛看」では、この講習会を受けた教員はいなかった。

受講の期間としては、「高校衛看」を除いた各課程では、『教員になって1年以上たってから』受けた教員が50.0~100.0%であった。

6) その他の教員養成のための講習会

「准看学校」(8.7%)と「大学」(6.0%)では、その他の講習会を受講している教員は、1割に満たなかった。「高校衛看」(19.1%)、「進学コース」(12.7%)、「3年課程」(10.3%)では、1割台の教員がその他の講習会を受けていた。「短大」では、26.3%の教員がその他の講習会を受けていた。

受講の時期としては、「高校衛看」(62.1%)と「准看学校」(41.5%)では、『教員になって1年以上たってから』受けた教員が4割以上いた。それ以外の各課程では、『教員になる前、なってから1年未満』に受けた教員が50.0~58.8%と50%台であった。

(2) 教員養成のための講習会の受講の有無

教員養成のための講習会の受講の有無をまとめたのが、表15である。

「高校衛看」と「大学」を除いた各課程では、1回以上講習会を受けた教員が57.1～89.3%おり、特に「3年課程」では、89.3%の教員が講習会を受講していた。「高校衛看」と「大学」では、講習会を1回も受講していない教員がそれぞれ59.5%、59.4%いた。

表15 教員養成のための講習会の受講の有無

	高校衛看	准看学校	進 学 コ ー ス	3年課程	短 大	大 学	複数課程	不 明	全 体
受けたことがない	181 (59.5)	297 (31.5)	191 (15.4)	153 (8.3)	165 (36.4)	79 (59.4)	63 (38.4)	5 (14.3)	1134 (22.1)
1 回 受 講	63 (20.7)	552 (58.5)	940 (75.7)	1582 (85.5)	216 (47.7)	34 (25.6)	86 (52.4)	22 (62.9)	3495 (68.2)
2 回 受 講	14 (4.6)	24 (2.5)	48 (3.9)	65 (3.5)	42 (9.3)	2 (1.5)	5 (3.0)	2 (5.7)	202 (3.9)
3 回 受 講	0 (—)	3 (0.3)	1 (0.1)	5 (0.3)	1 (0.2)	0 (—)	0 (—)	1 (2.9)	11 (0.2)
無 回 答	46 (15.1)	68 (7.2)	62 (5.0)	45 (2.4)	29 (6.4)	18 (13.5)	10 (6.1)	5 (14.3)	283 (5.5)
総 人 数	304 (100.0)	944 (100.0)	1242 (100.0)	1850 (100.0)	453 (100.0)	133 (100.0)	164 (100.0)	35 (100.0)	5125 (100.0)

註)『教員養成のための講習会』とは、表14の『国立講習衛生院の専攻課程看護コース』から『その他の教員養成のための講習会』までの6つの講習会のこと。

4. 教員になった動機

教員になった動機について、表16から、上位3位までみてみよう。

「高校衛看」の教員では、『臨床よりも教育に興味を持ったから』と『結婚し家事や育児を両立させるため』が26.6%で第1位であった。第3位は『出身校の先生・先輩・友人の勧めから』で、26.3%であった。

「准看学校」の教員では、『再就職を求めたら看護教員の職があったから』が34.4%で第1位であった。第2位は『夜勤を逃れたかったから』で30.8%、第3位は『結婚し家事や育児を両立させるため』で29.4%の順であった。

「進学コース」の教員では、『臨床よりも教育に興味を持ったから』と『職場の上司や先輩の勧めから』が24.3%で第1位であった。第3位は、『出身校の先生・先輩・友人の勧めから』で、22.7%であった。

「3年課程」の教員では、『職場の上司の命令から』が34.2%で第1位であった。次いで、第2位は『職場の上司や先輩の勧めから』で31.2%、第3位は『看護の現状を考えると教育が大事と考えたから』で21.1%の順であった。

「短大」の教員では、『出身校の先生・先輩・友人の勧めから』が37.3%で第1位であった。次いで、第2位は『看護の現状を考えると教育が大事と考えたから』で29.6%、第3位は『職場の上司や先輩の

看護教育調査

表16 教員になった動機（複数回答）

	高 校 衛 看	准 学 校	進 学 コ ー ス	3 年 課	短 大	大 学	複 課 程	不 明	全 体
以前から教員になろうと考えていたから	④ 74 (24.3)	107 (11.3)	196 (15.8)	234 (12.6)	④ 98 (21.6)	⑤ 20 (15.0)	③ 36 (22.0)	③ 9 (25.7)	774 (15.1)
尊敬する看護教員がいたから	17 (5.6)	64 (6.8)	96 (7.7)	111 (6.0)	44 (9.7)	10 (7.5)	12 (7.3)	3 (8.6)	357 (7.0)
臨床よりも教育に興味を持ったから	① 81 (26.6)	⑤ 220 (23.3)	① 302 (24.3)	④ 378 (20.4)	⑤ 91 (20.1)	15 (11.3)	④ 33 (20.1)	① 12 (34.3)	③1132 (22.1)
教員が自分の社会的地位を高めると考えたから	10 (3.3)	31 (3.3)	32 (2.6)	57 (3.1)	26 (5.7)	2 (1.5)	6 (3.7)	6 (17.1)	170 (3.3)
結婚し家事や育児を両立させるため	① 81 (26.6)	③ 278 (29.4)	205 (16.5)	159 (8.6)	33 (7.3)	10 (7.5)	23 (14.0)	⑤ 8 (22.9)	797 (15.6)
親・きょうだい・配偶者の希望や勧めから	32 (10.5)	54 (5.7)	62 (5.0)	61 (3.3)	16 (3.5)	2 (1.5)	8 (4.9)	2 (5.7)	237 (4.6)
勤務地と自宅との地理的な条件のため（転勤などを含む）	63 (20.7)	④ 224 (23.7)	165 (13.3)	99 (5.4)	16 (3.5)	5 (3.8)	11 (6.7)	7 (20.0)	590 (11.5)
前の職場を逃れたかったから	10 (3.3)	42 (4.4)	74 (6.0)	91 (4.9)	26 (5.7)	2 (1.5)	8 (4.9)	2 (5.7)	255 (5.0)
夜勤を逃れたかったから	57 (18.8)	② 291 (30.8)	⑤ 258 (20.8)	251 (13.6)	67 (14.8)	11 (8.3)	30 (18.3)	③ 9 (25.7)	974 (19.0)
職場の上司の命令から	9 (3.0)	121 (12.8)	256 (20.6)	① 633 (34.2)	70 (15.5)	12 (9.0)	23 (14.0)	4 (11.4)	④1128 (22.0)
再就職を求めたら看護教員の職があったから	⑤ 70 (23.0)	① 325 (34.4)	④ 264 (21.3)	152 (8.2)	27 (6.0)	7 (5.3)	16 (9.8)	② 10 (28.6)	871 (17.0)
職場の上司や先輩の勧めから	43 (14.1)	205 (21.7)	① 302 (24.3)	② 578 (31.2)	③ 122 (26.9)	③ 37 (27.8)	② 41 (25.0)	⑤ 8 (22.9)	①1336 (26.1)
出身校の先生・先輩・友人の勧めから	③ 80 (26.3)	183 (19.4)	③ 282 (22.7)	⑤ 337 (18.2)	① 169 (37.3)	① 59 (44.4)	① 53 (32.3)	4 (11.4)	②1167 (22.8)
教員がむいていると考えていたから	30 (9.9)	79 (8.4)	97 (7.8)	111 (6.0)	55 (12.1)	⑤ 20 (15.0)	17 (10.4)	6 (17.1)	415 (8.1)
看護の現状を考えると教育が大事と考えたから	41 (13.5)	121 (12.8)	220 (17.7)	③ 391 (21.1)	② 134 (29.6)	② 49 (36.8)	⑤ 32 (19.5)	7 (20.0)	⑤ 995 (19.4)
特に理由や動機はない	11 (3.6)	23 (2.4)	18 (1.4)	48 (2.6)	7 (1.5)	4 (3.0)	4 (2.4)	1 (2.9)	116 (2.3)
その他	30 (9.9)	59 (6.3)	134 (10.8)	242 (13.1)	69 (15.2)	④ 24 (18.0)	31 (18.9)	4 (11.4)	593 (11.6)
無 回 答	5 (1.6)	3 (0.3)	5 (0.4)	6 (0.3)	2 (0.4)	0 (—)	1 (0.6)	0 (—)	22 (0.4)
総 人 数	304 (100.0)	944 (100.0)	1242 (100.0)	1850 (100.0)	453 (100.0)	133 (100.0)	164 (100.0)	35 (100.0)	5125 (100.0)

註) ○の中の数字は、上位5位までの順位。

勧めから』で26.9%の順であった。

「大学」の教員では、『出身校の先生・先輩・友人の勧めから』が44.4%で第1位であった。次いで、第2位は『看護の現状を考えると教育が大事と考えたから』で36.8%、第3位は『職場の上司や先輩の勧めから』で27.8%の順であった。

5. ま と め

以上から、回答教員の教員としての経験や動機を各課程別にまとめると、以下の通りである。

「高校衛看」の教員は、教員としての経験年数が平均で12.7年あり、各課程の中で最も長い。臨床看

護の経験は、平均4.0年と各課程の中で最も短く、3年未満の経験しかない教員が43.8%と各課程の中で一番高い割合である。教員養成のための講習会を59.5%の教員が受けておらず、各課程の中で一番多い。教員になった動機の上位2位は、臨床よりも教育に興味を持ったから、結婚し家事や育児を両立させるため（各々26.6%）である。

「准看学校」の教員は、教員としての経験年数が平均で8.7年ある。臨床看護の経験は、平均で8.6年と各課程の中で最も長い。教員養成のための講習会を61.3%の教員が受けている。教員になった動機の上位2位は、再就職を求めたら看護教員の職があったから（34.4%）、夜勤を逃れたかったから（30.8%）である。

「進学コース」の教員は、教員としての経験年数が平均で8.4年ある。臨床看護の経験は、平均8.6年と各課程の中で最も長い。教員養成のための講習会を79.6%の教員が受けている。教員になった動機の上位2位は、臨床よりも教育に興味を持ったから、職場の上司や先輩の勧めから（各々24.3%）である。

「3年課程」の教員は、教員としての経験年数が平均で7.4年あり、各課程の中で一番短い。臨床看護の経験は、平均で8.6年と各課程の中で最も長い。教員養成のための講習会を89.3%の教員が受けており、各課程の中で最も多い。教員になった動機の上位2位は、職場の上司の命令から（34.2%）、職場の上司や先輩の勧めから（31.2%）である。

「短大」の教員は、教員としての経験年数が平均で10.2年ある。臨床看護の経験は、平均8.5年である。教員養成のための講習会を57.2%の教員が受けている。教員になった動機の上位2位は、出身校の先生・先輩・友人の勧めから（37.3%）、看護の現状を考えると教育が大事と考えたから（29.6%）である。

「大学」の教員は、教員としての経験年数が平均で11.6年ある。臨床看護の経験は、平均6.8年である。教員養成のための講習会を59.4%の教員が受けていない。教員になった動機の上位2位は、出身校の先生・先輩・友人の勧めから（44.4%）、看護の現状を考えると教育が大事と考えたから（36.8%）である。

Ⅲ 教員の仕事の実態と意識

1. 業務の時間

看護教員の1週間の業務を、「講義・授業」「講義・授業の準備」「実習指導」「実習指導の準備」「学生の相談やアドバイス」「学生の指導」「自分の研究」「会議」「事務的な業務」「その他」「1週間の実務時間」として、1週間の合計時間でたずねた。